



イタリア校とのスポーツ交流（5年生）



モスクワ日本人学校

しらかば

第8号

モスクワ日本人学校
一人一人が輝く学校
笑顔あふれる学校

児童生徒数131名

(E-mail)

school@mosnichi.com

(URL)

<http://www.mosnichi.com>

交流を楽しんでいます

夢みる力

校長 石川 賢

「夢みる力」。それを測るとすれば、夢の大きさではなく、夢の鮮明さで測ることが、その実現には欠かせない。大いに夢を語り合い、「夢みる力」を育んでほしい。そのためには、質の高い中学校生活を送ってほしい。そんな思いを込めて、六年生の卒業アルバムに載せるはなむけの言葉を書きました。

「夢」について考える時、「セレンディピティ」という言葉を思い浮かべます。「偶然、好運に出会う能力」をいうのだそうです。

科学上の大発見は、しばしば偶然に起こります。フライパンから宇宙服まで広く使われているテフロンも全く偶然に発見されたものでした。安全な冷媒を研究していたR・プランケット博士（アメリカの化学者）は、いつもと同じように実験室で満タンに充てんされたフッ化炭素ガスのボ

ンベをひねりました。ところがガスが出てこない。不思議に思った彼は、大胆にもボンベを輪切りにして中を確かめました。そして、白いワックステ状の粉末を見つめます。偶然が好運に変わった瞬間です。

本来なら新しいボンベに取り換えて実験を続けたであろうアクシデントを世紀の大発見に結び付けたのは、夢を語り続けることから生まれた旺盛な問題意識と地道な努力でした。

子どもたちも夢を語り続けてほしいと思います。漠然とした夢でも、それを言葉や文字で表出することで、「叶えられたらいい」「達成したい」という思いや願いが生まれ、「何とか実現できるのではないか」といった問題意識や未来への展望をもつことができるからです。

継続は力なり。偶然、幸運に出会う能力を身に付けることも然りです。